

# 岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想

～後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり～

## 岐阜公園周辺地区の計画

### 岐阜公園基本計画



I	岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想	
	・ 背景、基本理念等 .....	1
	・ 周遊ルートの設定 .....	2
	・ 魅力の創出 .....	3
	・ 岐阜公園周辺地区の計画立案 .....	4
	・ 課題・今後の方針 .....	4
II	岐阜公園周辺地区の計画	
	・ 基本理念、基本目標及び目標設定 .....	5
	・ 対象区域 .....	5
	・ 基本方針 .....	6
III	岐阜公園基本計画	
	・ 整備方針 .....	7
	・ 公園内お勧め巡路 .....	8
	・ 整備イメージ .....	9
	・ 信長居館跡の活用について .....	10
	・ 基本計画 .....	10
	・ 今後のスケジュール .....	11

岐阜市

# I 岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想

## 背景

かつてこの岐阜の地に城が築かれ、中世戦国時代の動乱の中、土岐氏、斎藤氏を経て、織田信長が入城、天下統一の足掛かりとし、当時「井の口」と呼ばれていた地名が「岐阜」と改められ、秩序ある城下町の形成を図ると共に、初めて楽市楽座制を設けるなど産業の育成を進めた。尾張から商人、工匠等に移住させ、材木町、大工町、鍛冶屋町、魚屋町、米屋町など職業別に住まわせ、長良川の舟運を利用し、川原町地区を物資交流の拠点とした。

現在も地区の基本的な骨格は、ほぼ当時のまま残り景観に優れ、歴史的、文化的に貴重な建造物が多く現存する。この地を訪れた松尾芭蕉、川端康成らも「岐阜」を感じ、またその足跡を今に残す…。

この歴史を刻み込んだ「岐阜」の地に溶け込む魅力を掘り起こし、心の豊かさが感じられるまちづくりの実現を目標とし、後世に伝えられる活力を生み出すための構想を立案するものである。



## 基本理念

—後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり—

- ・人々に語りかけ魅了する、心に感じることができる。
- ・後世に残し伝えたいと願うようなまちづくりを実現する。

## 基本目標

一. 歴史を感じる

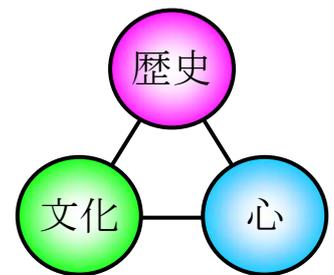
「岐阜」の地に流れた歴史を感じさせるまちづくりを実現する。

二. 文化を感じる

「岐阜」の地で育んだ文化を感じさせるまちづくりを実現する。

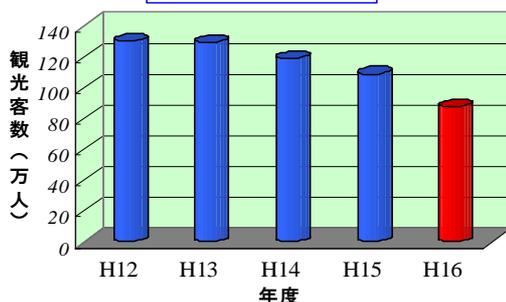
三. 心を感じる

「岐阜」の地に生きた人々、その心を感じさせるまちづくりを実現する。



## 目標設定

岐阜市年間観光客数



本市の観光客数は年々減少を続け、平成16年時点で約90万人(岐阜公園来客数)である。

まちなか観光施策の展開を図る上での数値目標については、今後5年間で年間観光客数を平成16年の約1.5倍(5年前の水準)とすることを目標とする。

約90万人 → 約150万人

出典：岐阜県観光レクリエーション動態調査(平成16年)

## 周遊ルートの設定

岐阜のまちに刻まれた記憶の掘り起こし

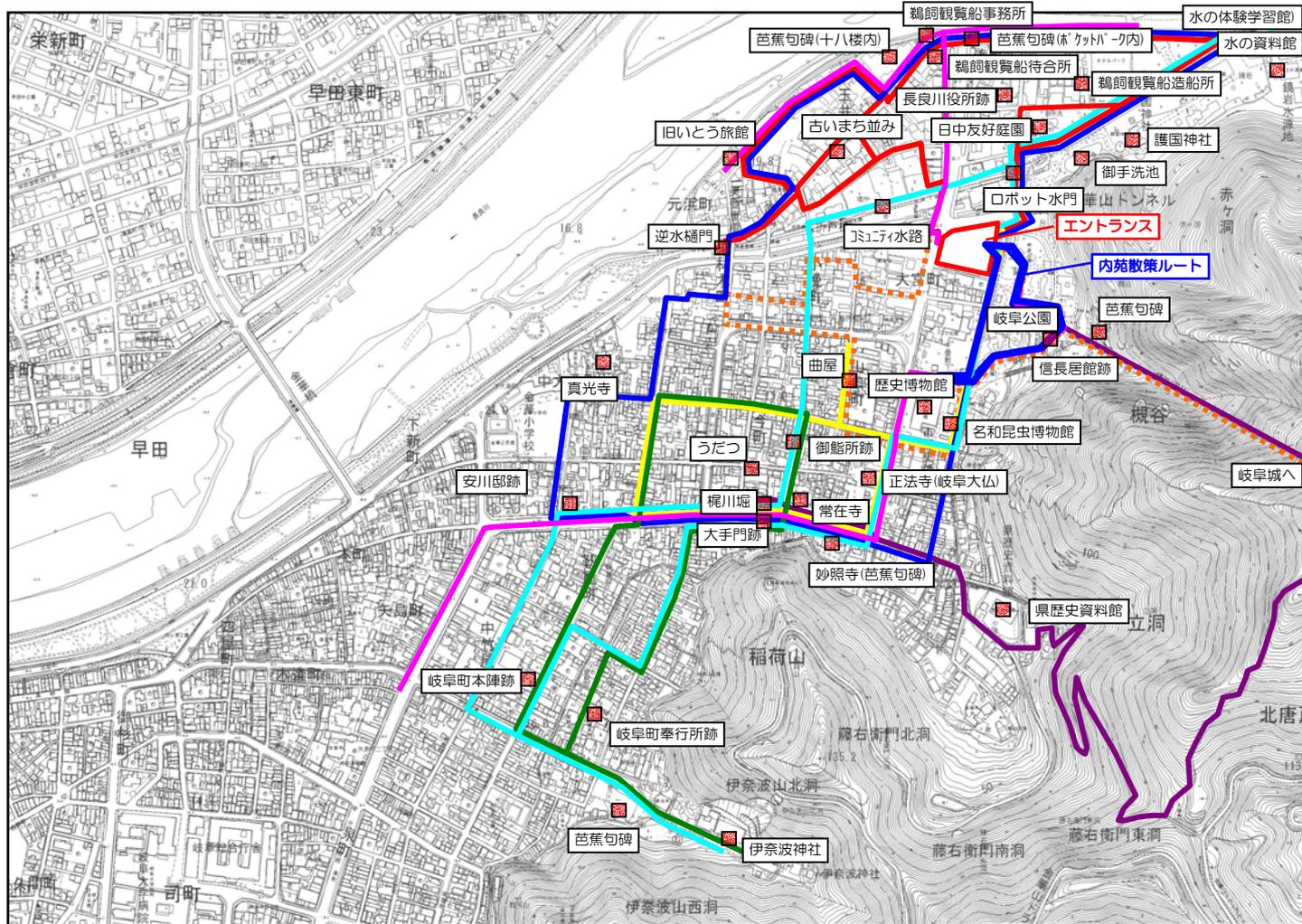
魅力の抽出、隠れた魅力の発見

テーマ別に周遊ルートを設定



対象地区において8つの周遊ルートを提案

## 『岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想』における8つの順路



- |                  |  |                                  |
|------------------|--|----------------------------------|
| <b>川原町通り</b>     |  | 昔ながらのまち並みと長良川の風景を楽しむルート          |
| <b>芭蕉の小道</b>     |  | 松尾芭蕉が岐阜を訪れ、散策したルート               |
| <b>戦国の大道</b>     |  | 戦国から残る古道に、信長や道三など時代に生きた人々を感じるルート |
| <b>御船街道</b>      |  | 鶴飼いでとれた鮎をなれ鮎にして運んだルート            |
| <b>信長天下布武への道</b> |  | 信長が天下統一を目指した岐阜の町を眺めるルート          |
| <b>文学の道</b>      |  | 岐阜ゆかりの文学を尋ねるルート                  |
| <b>大手道</b>       |  | 信長やその家臣が岐阜城登城の際、通ったルート           |
| <b>水の道</b>       |  | 水を感じるルート                         |

## 魅力の抽出

設定した周遊ルートに魅力あるものとするため、魅力の創出手法を取りまとめる。

### 魅力の抽出手法

#### 道路の意匠

舗装の工夫や無電柱化などにより、昔ながらの風景を創出

#### サイン、看板

毛筆体の看板や、高札風の看板などにより雰囲気創出

#### ベンチ・トイレ

茶屋風のベンチなどの形状の工夫などにより雰囲気創出

#### 照明灯

提灯風の照明灯など形状の工夫により雰囲気創出

#### 樹木・水辺

堀や水辺を復元することや、並木道などにより雰囲気創出

## 魅力の創出手法の例

### 道路の意匠

- ・歴史的なまち並みに合わせた無電柱化や、地道風の舗装
- ・石組みの側溝など昔ながらの風景



歴史的雰囲気を活かした道路

### サイン、看板

- ・統一したサインや特徴的なサイン
- ・筆字風など字体を統一



高札風のサイン



特徴的なデザイン

### ベンチ、トイレ

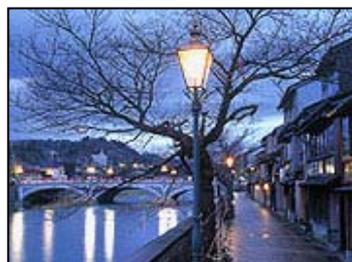
- ・茶屋風のベンチや切り株のベンチなど形状を工夫



茶屋風のベンチ

### 照明灯

- ・灯籠風、提灯風の照明灯など、幻想的な夜景を演出



灯籠風の照明灯

### 樹木・水辺

- ・景観に調和した並木
- ・堀など昔ながらの水辺空間を再生



水辺の復元

## 具体化に向けて

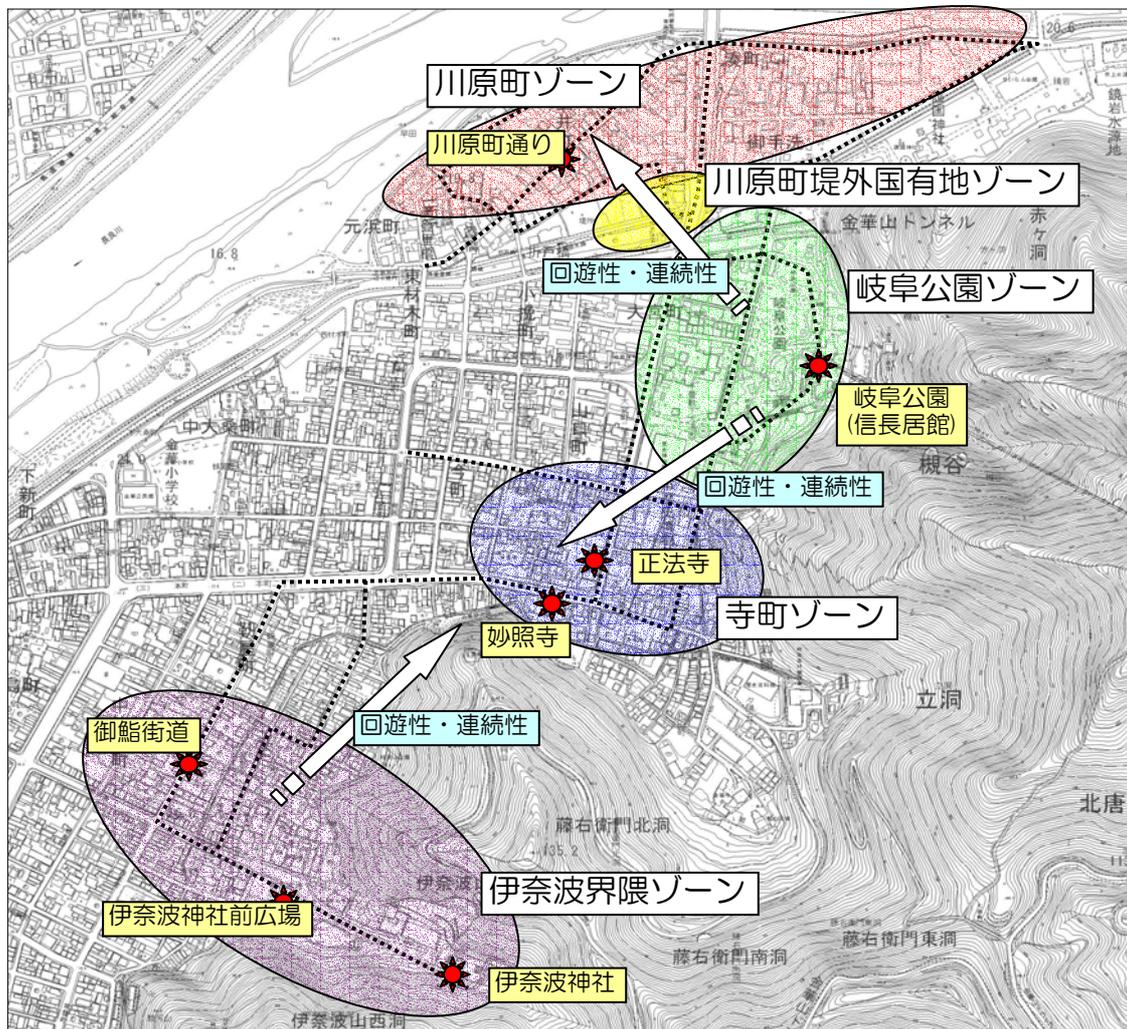
周遊ルートに回遊性・連続性を持たせ、面的な魅力創出の方策を検討する。

特に、魅力の高い区間をゾーンとして捉え、魅力と魅力（ゾーンとゾーン）を繋ぐ地区の計画を立案する。

## 岐阜公園周辺地区の計画立案

対象地区内で、最も魅力が集積しているゾーンとして岐阜公園、川原町、寺町が考えられる。

本構想を実現するための第一段階としては、岐阜公園を中心とした地区を対象として、具体的な計画を立案することとする。また、その後の検討として、伊奈波界限ゾーンへの回遊性・連続性のある、歩きに広がりを持たせた計画とする。



## 課題・今後の方針

### 1 事業着手に向けて

- ・基本構想の実現に向けては、市民と行政の協働で取り組む。
- ・地域住民の参加する協議会の設立や、地域商業施設との連携体制の確立などを進める。

### 2 他分野への重層的展開

- ・景観誘導や地域のまちづくり活動への支援などにより、公共空間とあわせ民地での魅力づくりを進めるなど、多様な分野からの展開を図る。
- ・まち並みの保全やまち並みの再生に関し、行政の支援体制づくりについて関係機関と協議を進める。

### 3 関連団体との連携

- ・取り組みの方向性をプロモーションビデオやPRポスターの作成などにより広く周知する。
- ・商工観光団体や観光業界などとの連携体制の確立を進める。

### 4 他地区への構想展開

- ・本構想が対象とする地区から、他地区（長良川右岸、柳ヶ瀬、加納地区など）へ展開する。特に長良川右岸地区とは、鶺鴒や長良川の風景など川文化を共通のテーマとし、地区間の連携強化を図る。
- ・回遊性・連続性のある、より広いまちなか歩きを進め、まちなか観光施策を展開する。

## II 岐阜公園周辺地区の計画

### 基本理念、基本目標及び目標設定

上位計画である『岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想』を踏襲

#### ■基本理念

—後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり—

#### ■基本目標

- 一. 歴史を感じる
- 二. 文化を感じる
- 三. 心を感じる

#### ■目標設定

約90万人 (平成16年・岐阜公園来客数)



約150万人 (平成22年)

### 対象区域

岐阜公園を中心にまちなか歩きが楽しめる半日観光の範囲とし、川原町、岐阜公園、寺町に至る区域とする。

ここには信長や芭蕉にゆかりの岐阜公園や仏閣、岐阜町の発祥の原点である川原町の町並み、歴史的な町屋、堤防、忠節用水等があり、街の歴史を物語る観光資源が豊富であることから、『岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想』の中心になる地区として早期にそれら資源のネットワーク化を行う整備（まちなか観光の巡路づくり）が求められている。



## 基本方針

岐阜のまちに刻まれた記憶、信長・道三・芭蕉などを感じることで魅惑あるまちづくりを実現するという『岐阜町発祥の地まちなか歩き構想』の中核をなす地区として、岐阜公園を中心に川原町、寺町に至る半日観光を楽しめるまちなか歩き巡路を設定し、道が、広場が、川が語りかけてくれるような魅力づくりを行っていく。

## まちなか歩きの巡路

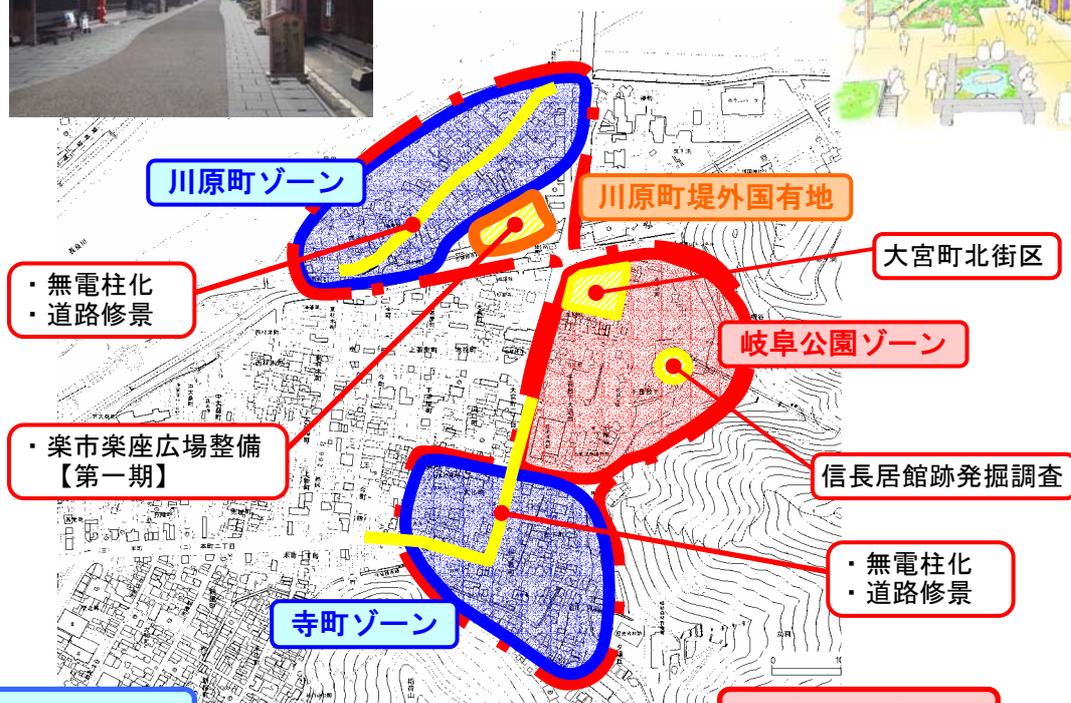
### 川原町ゾーン

沿道にまともって歴史的町並みが残されており、住民の生活空間と観光空間が調和した歴史的町並み保全区域として、「川原町まちづくり協定」が策定され、無電柱化や街路の修景整備を図り、観光に寄与するまちづくりを行う。



### 川原町堤外国有地

川原町から岐阜公園を経て妙照寺へ至るまちなか歩きの巡路を設定する場合、当該地は岐阜公園と川原町を結ぶ巡路の要の位置にあるため、極めて良好な視点場としての環境を保全しつつ、賑わいを創出する。



### 寺町ゾーン

正法寺、妙照寺、常在寺、覚林寺など、道三、信長、芭蕉など各時代の顔となる歴史上の人物と関わりのある仏閣が集まっているため、無電柱化などの沿道修景を行い、回遊できる歩行者ルートの整備を行う。



### 岐阜公園ゾーン

道三、信長の戦国期から現在にかけて構築された歴史的資産や魅力的な要素を活かし、歴史公園として統一性のある整備を図り、周辺観光地区の中心施設としての役割を担う。



### III 岐阜公園基本計画

#### ■整備方針

##### 基本方針

岐阜公園周辺地区の計画を受け、まちなか歩きが楽しめる岐阜公園周辺地区の中心施設として、“信長”をキーワードとし、『**信長の時代を語る岐阜公園**』をテーマとする。

信長が岐阜に居を構えた**戦国時代風の設え**から、公園内を巡る中で信長が岐阜にいた頃の戦国時代に思いを馳せ、**信長らの気持ちになり、信長らが身近に感じられる公園**を目指す。

##### ゾーニング

##### 武家屋敷風エントランス・ガイダンスゾーン (案内・説明・情報発信)

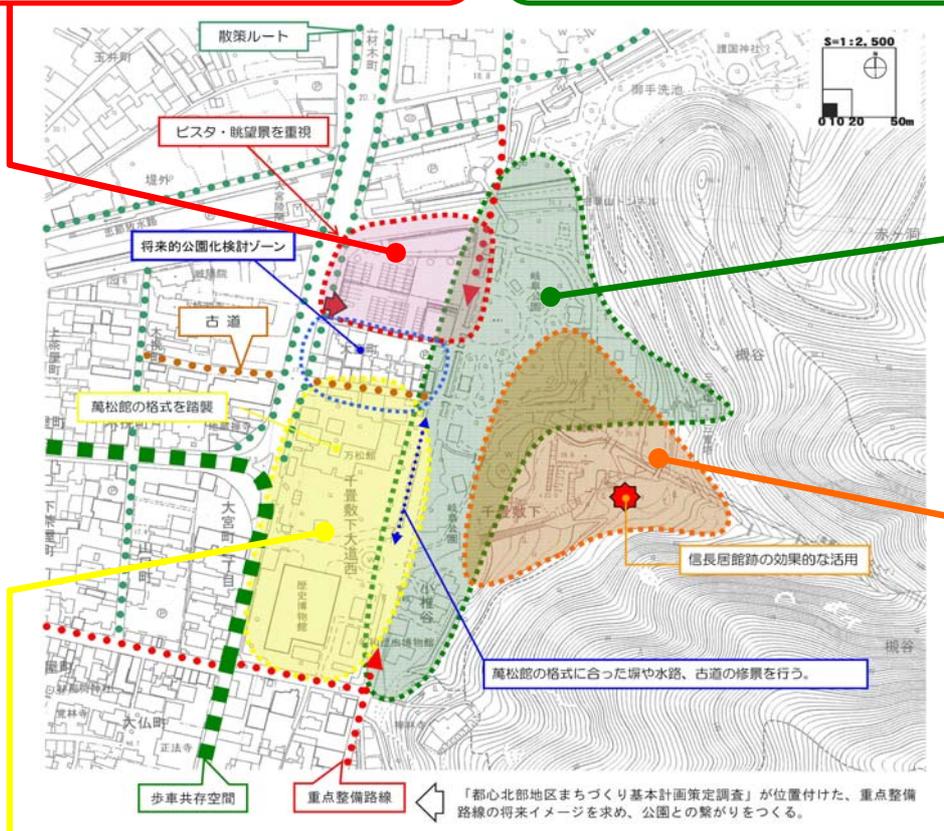
新たな公園のメインエントランス区域

武家屋敷風の案内所（観光情報発信や岐阜公園の歴史、金華山・長良川の自然等ガイダンス施設）や休憩施設と馬場風のバス・普通車兼用駐車場の整備

##### 屋敷内庭園風憩いと交流ゾーン (現代のニーズへの対応)

信長の時代を基調とする和の空間形成を基本とした屋敷内庭園のイメージの多目的広場と囲いの中の遊具広場

屋敷内庭園風の芝生広場と生垣等で囲った遊具施設の整備



##### 近代建造物等活用ゾーン (サブテーマ)

明治期から昭和期にかけて建築された公園資産（歴史博物館・萬松館・名和昆虫博物館等）の保全・活用

公園の新たな魅力を高めるための既存施設の活用と周辺整備

##### 信長居館跡活用ゾーン (メインテーマ)

新たな岐阜のシンボルとしての効果的な活用

発掘調査を開始  
発掘調査の状況により、信長居館の再現または復元も含め、その後の活用方法を決定

まちなか歩きの拠点として、**回遊性、巡路をもつ公園づくり**を目指す。

### 公園内お勧め巡路

周辺まち歩き  
ルートと接続

川原町通り  
文楽の小道  
信長天下布武への道  
芭蕉の小道  
水芭蕉の小道

#### エントランス

岐阜城、武家屋敷風の建物を眺め、信長の天下統一への夢の旅の始まりにわくわくしてもらおう。



#### 屋敷内庭園風広場

信長の時代の雰囲気を楽しむ。  
・戦国大名が楽しんだ野遊び、野点（のだて）等



#### 信長の庭

戦国時代の庭造りの技法（巨石組と池）を用いた庭を拡充し、信長が見た庭を感じてもらおう。



#### 岐阜城

天守閣からの眺望は、信長も天下統一（京への上洛）の思いを膨らませたであろう気持ちを体感してもらおう。



#### 信長居館跡

一級品の歴史資産の効果的に活用。  
信長の生活を感じてもらおう。

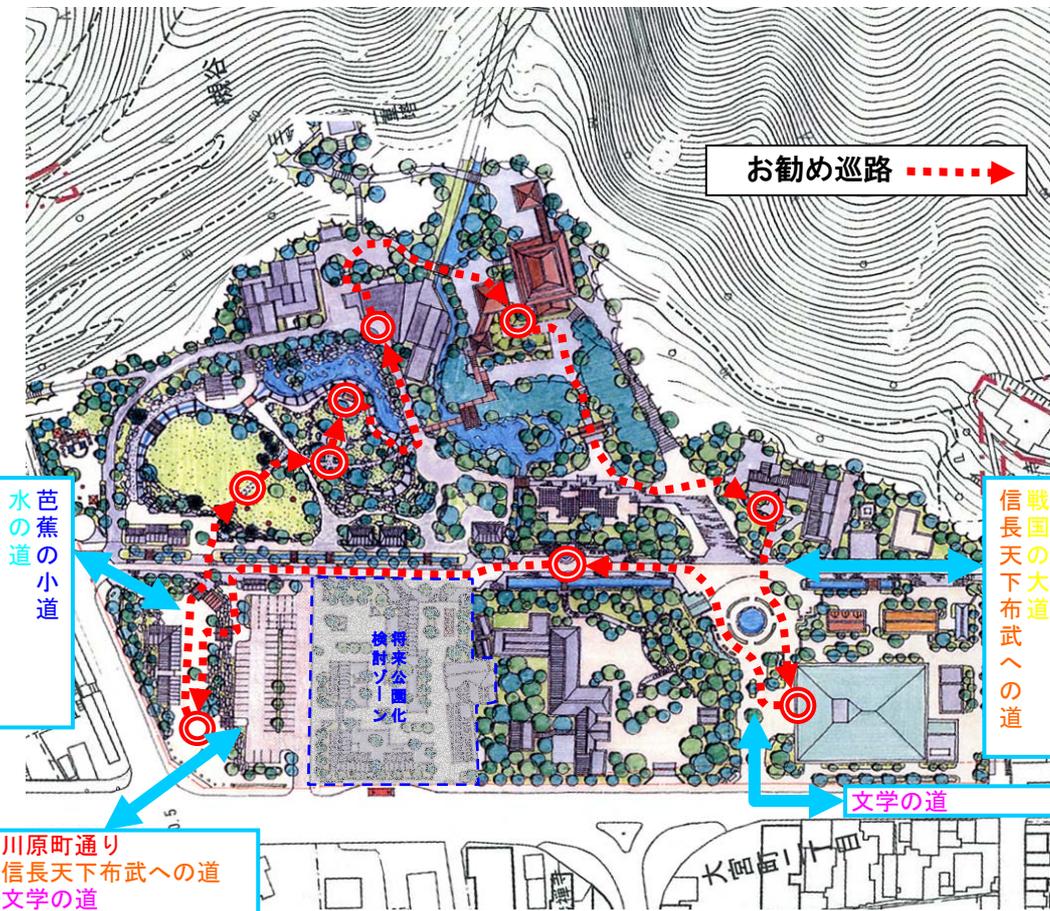


#### 来園者休憩所・茶席

信長も好んだ茶の湯を飲み、優雅な気分になってもらう。  
・散歩途中にお抹茶で風雅なひととき



お勧め巡路



周辺まち歩き  
ルートと接続

川原町通り  
文楽の小道  
信長天下布武への道  
芭蕉の小道  
水芭蕉の小道

#### 古道

戦国時代の重要街路に用いた舗装技法を再現した園路を散策してもらい、岐阜公園の歴史を感じてもらおう。



#### 歴史博物館

信長、信長時代の岐阜、楽市楽座等をもっと知ってもらい、知識を深めてもらう。  
・館内に復元した信長時代の楽市場で歴史を体感できる。



■整備イメージ (信長居館跡地の複数の活用方法のうちから、復元又は再現を採用した場合のイメージ)

信長居館跡



来園者休憩所・茶席



古道



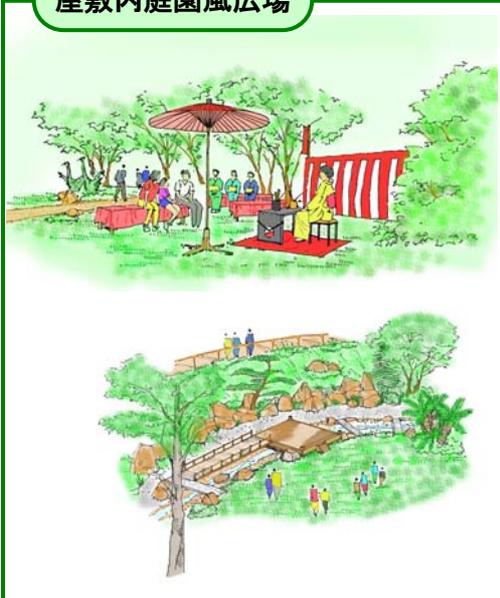
歴史博物館



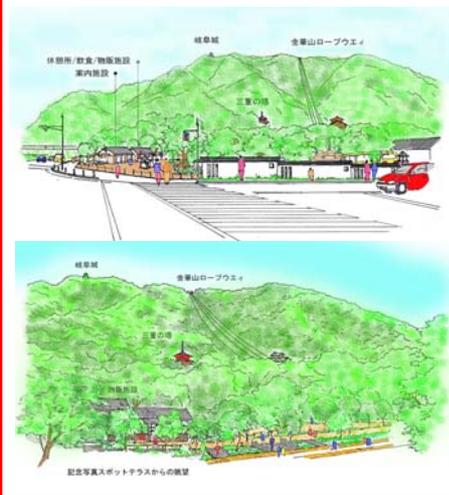
エントランス



屋敷内庭園風広場



信長の庭



※細部については変更があります。

## ■信長居館跡の活用について

### 基本方針

信長居館跡地は、岐阜市にとって**一級品の歴史資産**である。**新たな岐阜のシンボル**として、跡地だけでなく「居館」の復元や再現、あるいは「信長をテーマにした施設」のあり方やその効果的な活用方法についても幅広く議論し、検討していく。

### 効果的な活用方針案

#### ①発掘調査の実施

発掘調査を実施し、その調査の状況や成果を市民等に広く公開し、**観光資源として活用**する。

#### ②効果的活用の検討

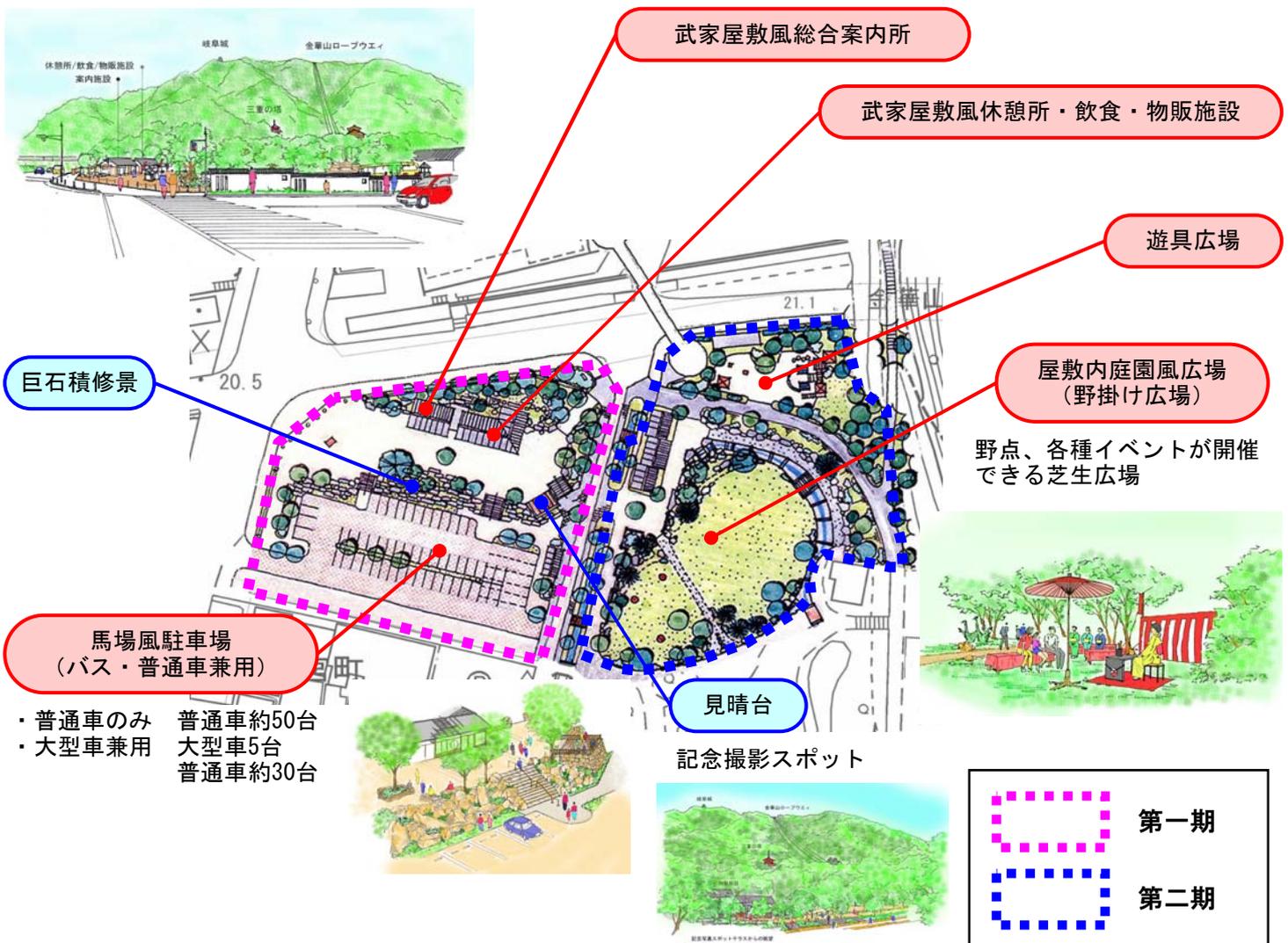
信長居館については、

- ①居館の復元又は再現
- ②信長をテーマとする新たな建物
- ③史跡としての保全

について検討する。

なお、信長をテーマとする建物については、別の場所に建築することも検討する。

## ■基本計画



## ■今後のスケジュール

年 度	事 業 内 容	信長居館
第一期	【大宮町北街区】 実施設計、整備工事	試掘調査 発掘調査実施計画の策定 ・発掘調査利活用等の検討 信長居館の検討 ・跡地の観光資源化 ・居館の復元又は再現 ・新たな利活用 (跡地以外での信長テーマ館など)
第二期	【現遊具広場周辺】 実施設計、整備工事	

※現在の予定であり、状況によっては変更があります。

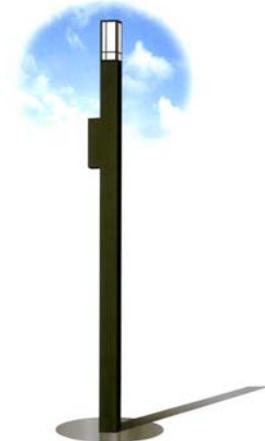
## 参 考

### ■川原町ゾーンの整備

#### 基本方針

“昔ながらのまち並みと長良川の風景を楽しめる空間”

川原町通りを軸に、無電柱化・修景整備をすることにより、景観に配慮した、かつて物流の拠点として栄えた古いまち並みの風景や、昔ながらの長良川の風景を再現することを目指す。



まち並みにあったデザインの街路灯を設置



河畔道路の整備イメージ



川原町通りの現況



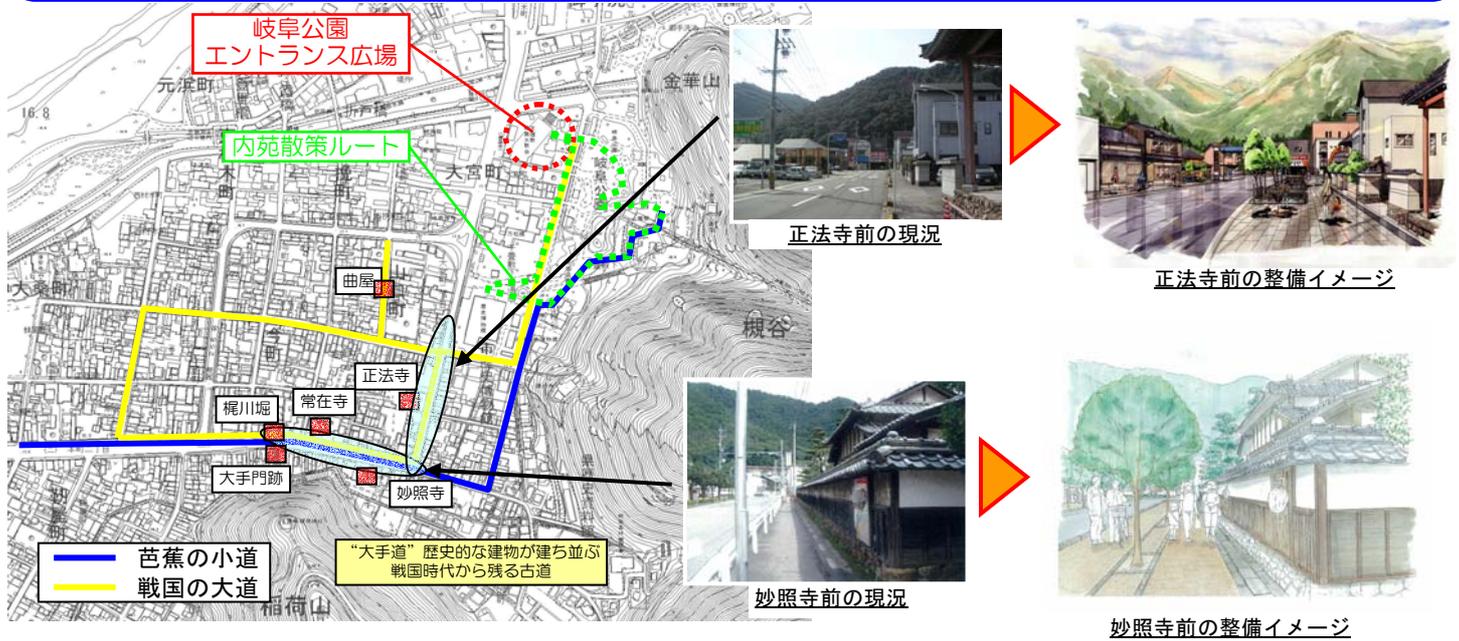
川原町通りの整備イメージ

## ■寺町ゾーンの整備

### 基本方針

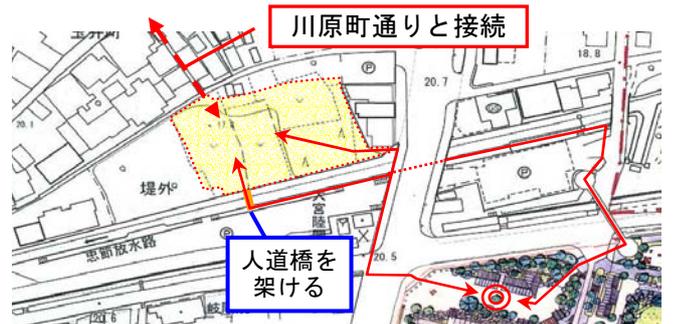
“信長や道三など時代に生きた人々を感じさせる空間”

歴史的な建物との調和を図りながら、戦国時代から残る古道を中心として、昔ながらの風景を再現し、自転車と歩行者の通行に配慮した整備を目指す。



## ■川原町堤外国有地の整備

- ・ 厳しい財政制約の中で早期に効果を発現するため、最初から最終の完成形を目指すのではなく、短期的及び長期的な視点に立った**段階的な整備**とする。
- ・ 交流の場、賑わいの創出という観点から、時代や嗜好の変化が激しい中で、その状況に応じて人が楽しめる空間をつくり出すため、**弾力的な運用**ができる空間整備を目指す。



**岐阜市まちづくり推進部・基盤整備部・都市建設部**  
岐阜市今沢町18番地  
TEL 058-265-4141（代表）

※この構想は、上位計画である「金華山・長良川まるごと博物館構想」等に基づき立案したものである。

2006年10月作成  
2008年11月修正